

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年2月28日

事業所名 多機能型事業所子ども通所サービスあぼろ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	各エリアで活動できるようにしている	
	2 職員の配置数は適切である	5	0	利用人数に対して適切に配置している	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	0	お子さんの特性に合わせて設備改善・構造化に努めている	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	0	定期的に換気および消毒を実施している	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	0	スタッフ全員参加の会議を実施している	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	保護者の方からの評価や意見を受け止め、業務改善を行っていききたい	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	ホームページにて公表し、また事業所玄関にお知らせを掲示することで周知している	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	0	第三者委員会を設置している	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	自閉eサービス、あくしゅの研修に積極的に参加している	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	0	検査キッドを使用したアセスメントや保護者からの聞き取り、アセスメントシートの記入などをもとに支援計画を作成している	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	強度行動障害の判定表やフェイスシート、アセスメントシートを使用している	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	0	児童発達支援ガイドラインを参考にしてお子さんにあった領域を選択して個別支援計画を具体的に設定している	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	0	支援計画に沿って利用日のスケジュールや活動内容を組み立てて支援を行なっている	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	活動プログラムは主任を中心としたスタッフ全員で立案を行っている	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	固定化しないように配慮している	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5	0	お子さんの特性に合わせて支援計画を作成している	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	毎朝引継ぎを実施し、週間予定表、月間予定表を作成し担当を明確にしている	

	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	支援終了後、課題や支援をふりかえりスタッフ間で共有している	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	課題や活動は写真に撮って評価を実施し、再構造化や環境調整を実施している。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	0	年2回のモニタリングに加え、日々の支援でその都度見直しを行っている	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	児童発達支援管理責任者が参加するようにしているが、状況に応じて担当スタッフや管理者など、必要なスタッフが参加するようにしている	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	0	必要に応じて支援の連携ができる体制は整えている	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5	0	該当しない	該当しない
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	5	0	該当しない	該当しない
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	0	個別支援計画や日々の支援内容をまとめたものを提出したり、必要に応じて先生との引継ぎの時間を設定している	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	0	個別支援計画や日々の支援内容をまとめたものを提出したり、必要に応じて先生との引継ぎの時間を設定している	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	0	山口県発達障害者支援センターと連携を取り、コンサルテーションを定期的に依頼している。また研修にも積極的に参加している	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	2	ひらきの里にて行事がある際には案内を周知している	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5	0	子ども部会の役員を担い、積極的に参加している	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	利用されたときに療育内容を写真で伝え、送迎のときに保護者と振り返りをするように心がけている。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5	0	保護者から相談があったときには必要なツールやスケジュールなどを一緒に作成する時間を設定している		
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	契約時に丁寧な説明を心がけている	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	0	ガイドラインに基づいて作成した支援計画の内容を保護者の方に納得していただけるように丁寧な説明を心がけている	

保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	相談があったときには助言、支援を実施している	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	0	新型コロナウイルス感染症対策に留意し、療育を参観していただく機会や保護者同士の連携の機会を設けている	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	相談があったときには体制を整え対応している	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	会報の発行は行っていないが、日々の記録を写真にて保護者に発信している	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5	0	同意書に基づいて十分配慮を行っている 不必要となった情報をシュレッダーにかけている データの取扱いについてもセキュリティを強化して十分注意している	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	視覚的なツールを使用して伝えるようにしている	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	1	ひらきの里の行事に参加している	今年度については新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	1	マニュアルを玄関に設置するとともに、玄関に掲示している	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	年に2回実施している (避難訓練/水害訓練)	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	0	フェイスシートにて確認を行っている。てんかん発作時の詳しい対応については保護者からも聞き取りを行いマニュアル化し対応している	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0	契約時にアレルギー調査を実施し、医師の見解に基づいて対応するようにしている	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	ヒヤリハットの報告書をスタッフ間で共有を行っている	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	研修会にスタッフ全員で参加している	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	0	該当しない	